

清河小学校 学校通信

あきらめない心, おおきな挑戦, かんがえぬく力



あおがっ子

令和6年2月2日 No. 12

三次市立清河小学校発行

校長 貞丸 昭 則



世界に1枚だけの絵手紙！



自分のイメージで表現してみました！！ 絵手紙教室

2月1日（木）清河地域の方を講師に「絵手紙教室」を行いました。今年度は「かぶ」が共通テーマです。児童達は、「かぶ」をよく見て、時折、佐々木さんの指導を受けながら、個性豊かな「世界に1枚だけの絵手紙」を完成させました。

この絵手紙は、16日（金）の授業参観時にご覧いただけるよう、掲示します。





1日(木) 絵手紙教室 委員会⑥
 3日(土) 十日市中入学説明会
 5日(月) なわとび大会
 6日(火) 塩町中入学説明会
 8日(木) 川地中入学説明会

9日(金) 漢字検定
 11日(日) 建国記念の日
 12日(月) 振替休業日
 13日(火) ふれあい相談日 立番(保護者)
 15日(木) クラブ⑥(ほたる太鼓指導)
 16日(金) 参観日・学級懇談会
 学校評議員との懇談会
 学校関係者評価委員会
 20日(火) 前期児童会選挙
 22日(木) 新委員会⑥
 24日(土) PTA親子研修(紙すき、いちご狩り)

23日(金) 天皇誕生日
 29日(木) クラブ⑥



1日(金) 卒業写真撮影
 7日(火) 6年生を送る会
 12日(火) 通学班会議
 ふれあい相談日
 立番(保護者)
 卒業式リハーサル

20日(水) 「春分の日」
 21日(木) 卒業式準備
 22日(金) 卒業式10時～※全児童給食無しで下校
 25日(月) 修了式・離任式
 26日(土) 春休みスタート(～4月7日まで)

卒業式

自分の思いを詩に表して「鈴木三重吉賞～中国新聞社主催～ 入賞作品紹介」

清河小学校は、子供達の「表現力」を高めることに重点を置き、日々の教育活動を行っています。その一つとして、毎年、中国新聞主催の「鈴木三重吉賞」に作品を応募しました。その結果、5名の児童作品が入賞しました。(学校日より11号でも紹介)

今月の学校日よりから、入賞作品を紹介します。

一輪車で深まる絆
 三次市立清河小学校 六年 児童

「ドンマイ、頑張れ。」
 ぼくは一年生の姿を見ながら思う。
 一年生は、こけた場所から、もう一度一輪車にまたがる。

清河小学校では、運動会で全校児童による一輪車の演技を発表することが伝統だ。ぼくも六年間、発表してきた。

だから、一年生のドキドキ感も分かるし、失敗した時の気持ちも分かる。

でも、成功した時のうれしさは、何とも言えないものがある。

一年生にも、そのうれしさを感じて欲しい。失敗しても、くじけずに頑張る「あきらめない心」を持って欲しい。

今年、ぼくがチャレンジする一番難しい演技は、フラミンゴに乗りながら、友達とペアでするメリーゴーランドだ。

フラミンゴとは、普通の一輪車よりもサドルの位置が高い一輪車だ。

そのため、バランスをとるのが難しい。地面に足が着かないので、こわさもある。

脚立につかまり、出番を待つ。

いよいよぼくの番だ。

「うまく演技ができるかな。」という不安と、「小学校最後の運動会で技を成功させたい」という気持ちが入り混じる。

「よし、いくぞ。」

脚立から手を放し、ペダルをふみこむ。友だちが手を伸ばして近づいてくる。

ぼくは、友達の手をにぎり、もう片方の手を伸ばす。

バランスをとりながら、回っていく。

一回、二回。

「やった、できたぞ。」



ガッツポーズをした気分だ。
 最後は全校演技「大風車」だ。

「大風車」は、赤組白組十人ずつがトラックの両側から手をつないで向かい合って進みそれぞれ列の端にいる人が手をつないで二十人が風車のように回る演技だ。

となりの一年生の顔が不安そうに見える。

「大丈夫。できるよ。」

ぼくは声をかけた。

スタートの笛が鳴る。

ぼくは、一年生の手をにぎってペダルをこいだ。

十人の手がつながっている。

高学年は、下級生のことを気にしながら進んでいる。

赤組の列が近づいてくる。

端の人の手がつながる。

「みんな、がんばれ、できるぞ。」

ぼくはペダルをこぎ続けた。

一年生がふらついたので、つないでいる手に入れた。

「大風車」が一周回った。

「やった。できたぞ。」

みんなの笑顔が広がる。

一輪車は、毎年ぼくたちの絆を深めてくれる。そしてその絆は、清河小学校の歴史と共につながっている。

ぼくが卒業しても、大切にしたい。